

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-024512

(43)Date of publication of application : 28.01.2003

(51)Int.Cl.

A63F 5/04

(21)Application number : 2001-213598

(71)Applicant : FUJI SHOJI:KK

(22)Date of filing : 13.07.2001

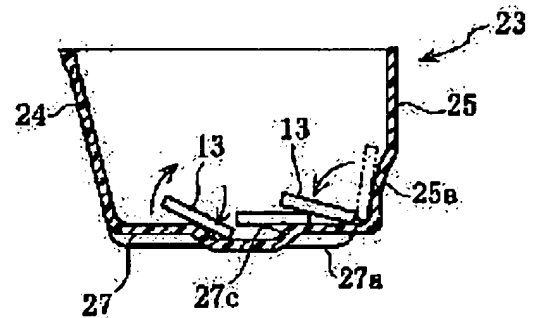
(72)Inventor : TSUKAHARA KEIJI

(54) GAME MACHINE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To facilitate the taking out of medals by keeping the medals from sticking onto the inner wall part of a medal tray or the wall surface of the bottom wall part.

SOLUTION: A separation promoting part 25a comprising an inner wall bulged part is provided at the lower end part of the inner wall part 25 of the medal tray 23 and an oval separation promoting part 27c comprising a bottom wall recessed part is formed at the central part of the bottom wall part 27. The medals 13 put out into the medal tray 23 are promoted with the separation promoting parts 25a and 27c to separate from the inner wall part 25 and the bottom wall part 27 so that none of the medals will not stick onto the wall surfaces of the inner wall part 25 and the bottom wall part 27 thereby facilitating the taking out of the medals 13.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

21.08.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2003-24512
(P2003-24512A)

(43)公開日 平成15年1月28日(2003.1.28)

| | | | |
|--------------------------|-------|--------------|------------|
| (51)Int.Cl. ⁷ | 識別記号 | F I | テ-マ-ト*(参考) |
| A 6 3 F 5/04 | 5 1 2 | A 6 3 F 5/04 | 5 1 2 U |

審査請求 有 請求項の数6 O L (全 8 頁)

(21)出願番号 特願2001-213598(P2001-213598)

(22)出願日 平成13年7月13日(2001.7.13)

(71)出願人 391010943

株式会社藤商事

大阪府大阪市中央区内本町一丁目1番4号

(72)発明者 塚原 啓二

大阪府東大阪市荒川3丁目10番7号 株式
会社藤商事内

(74)代理人 100089004

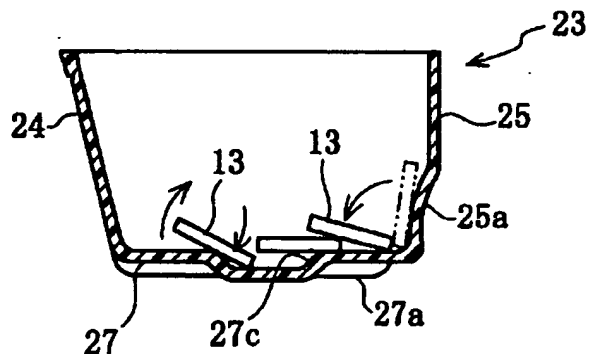
弁理士 岡村 俊雄

(54)【発明の名称】 遊技機

(57)【要約】

【課題】 メダルがメダル受け皿の奥壁部や底壁部の壁面にくっつかないようにすること、メダルを取り出し易くすること。

【解決手段】 メダル受け皿23の奥壁部25の下端部に奥壁膨出部からなる分離促進部25aを設け、底壁部27の中央部に底壁凹入部からなる長円形状の分離促進部27cを形成したので、メダル受け皿23に払出されたメダル13は、分離促進部25a、27cにより奥壁部25や底壁部27からの分離が促進され、何れのメダル13も奥壁部25や底壁部27の壁面にくっつくことがなく、メダル13の取り出しが容易になる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数種の図柄を配置した複数の図柄列と、複数の図柄列の変動表示を開始させる開始指令手段(17)と、複数の図柄列の変動表示を停止させる停止指令手段(18～20)と、複数の図柄列が何れかの入賞態様で停止したときに入賞態様に応じて払出された賞媒体(13)を収容する受け皿(23, 23A～23I)とを備えた遊技機において、前記受け皿(23, 23A～23I)の壁部(25, 25A～25G, 27, 27A～27C)に、その壁面からの賞媒体(13)の分離を促進する分離促進部(25a～25h, 27a～27f)を設けたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】 前記分離促進部(25a～25d, 25g)は、受け皿(23, 23A～23C, 23F)の奥壁部(25, 25A～25C, 25F)の少なくとも一部を受け皿(23, 23A～23C, 23F)の内側方向へ膨らませた奥壁膨出部を有することを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】 前記分離促進部(25e, 25f, 25h)は、受け皿(23, 23E, 23I)の奥壁部(25D, 25E, 25G)の少なくとも一部を受け皿(23D, 23E, 23I)の外側方向へ凹入させた奥壁凹入部を有することを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項4】 前記分離促進部(27d～27f)は、受け皿(23G～23I)の底壁部(27A～27C)の少なくとも一部を受け皿(23G～23I)の内側方向へ膨らませた底壁膨出部を有することを特徴とする請求項2又は3に記載の遊技機。

【請求項5】 前記分離促進部(27c)は、受け皿(23)の底壁部(27)の少なくとも一部を受け皿(23)の外側方向へ凹入させた底壁凹入部を有することを特徴とする請求項2又は3に記載の遊技機。

【請求項6】 前記受け皿(23, 23A～23I)の底壁部(27, 27A～27C)の左端部分と右端部分の少なくとも一方に、賞媒体を取り出し易くする為底壁部(27, 27A～27C)を下方へ窪ませた取出助長部(27a, 27b)を設けたことを特徴とする請求項4又は5に記載の遊技機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、払出された賞媒体を収容する受け皿を設けた遊技機に関し、特にその受け皿に収容されたメダルを取り出し易いように改良したものに關する。

【0002】

【従来の技術】 従来、スロットマシンには、一般に、スタートレバーと、3組の回転リール及びこれら回転リールに対応する3組のストップボタン等が設けられ、遊技者は、遊技媒体であるメダルを1～3枚ベットし、スタートレバーの操作により3組の回転リールを同時に回転させ、3つのストップボタンを順次操作して、回転する3組の回転リールを所望のタイミングで停止させてゲームを行う。

【0003】 各回転リールの外周面には複数種の遊技図柄(例えば、「7」、「ベル」、「プラム」、「チェリー」、「リプレイ図柄」等)が印されており、ストップボタン操作により3組の回転リールを停止させたときに、スロットマシンの前面部の表示窓に表示される停止図柄の組合せとして、入賞ラインに沿って、大当り態様、小役態様、リプレイ態様、外れ態様等のうちの何れかが揃う。これら大当り態様や小役態様等になった場合には、予め設定された枚数(例えば、1～15枚)のメダルが賞として払出され、メダル受け皿に貯留される。

【0004】 ところで、メダル受け皿は、上部開放状態で横長の箱体からなり、スロットマシンの機枠の下端部の前端面に設けられている。そして、そのメダル受け皿には、ゲームの開始に際して予め準備した複数枚のメダルを貯留しておくとともに、入賞態様に応じてメダル払出し口から払出されたメダルが、そのメダル払出し口付近に山積み状態で貯留される。そこで、遊技者は、山積み状態に貯留されている多数枚のメダルのうちから複数枚(例えば、10枚前後)のメダルを、通常の場合、左手で掴んで指によりこれらを重ねるようにして左手に持ち、右手に持ち替えてメダル投入口に投入し、左手でスタートレバーを操作し、右手又は左手でストップボタンを操作するようにしている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 前述したように、メダル受け皿に貯留されているメダルを左手で掴む場合、メダル払出し口付近に山積み状態で貯留されている場合には、所望の複数枚のメダルを掴み易いが、貯留メダル枚数が少なくなり、メダル受け皿に複数枚のメダルが重ならず底壁上に貯留されるような場合、又は奥壁部に起立姿勢で付着した状態(くっついた状態)に残る場合があり、この場合には、そのくっついた状態のメダルを指で摘むことが非常に困難であること、等の問題がある。本発明の目的は、メダルがメダル受け皿の奥壁部や底壁部の壁面にくっつかないようにすること、メダルを取り出し易くすること、等である。

【0006】

【課題を解決するための手段】 本願の遊技機は、複数種の図柄を配置した複数の図柄列と、複数の図柄列の変動表示を開始させる開始指令手段と、複数の図柄列の変動表示を停止させる停止指令手段と、複数の図柄列が何れかの入賞態様で停止したときに入賞態様に応じて払出された賞媒体を収容する受け皿とを備えた遊技機において、受け皿の壁部に、その壁面からの賞媒体の分離を促進する分離促進部を設けたものである。

【0007】 複数の図柄列の変動表示を開始してから停止しときに、ビッグボーナスや小役等の入賞態様の場合には、入賞態様に応じて予め決められた枚数の賞媒体が受け皿に払出される。この場合、受け皿の壁部に分離促進部が設けられているため、払出された何れの賞媒体も

その分離促進部により、奥壁部や底壁部等の壁部にくっつくようなことはなくなる。それ故、遊技者による賞媒体の受け皿からの取り出しが容易になる。

【0008】ここで、前記分離促進部は、受け皿の奥壁部の少なくとも一部を受け皿の内側方向へ膨らませた奥壁膨出部を有するように構成してもよい。また、前記分離促進部は、受け皿の奥壁部の少なくとも一部を受け皿の外側方向へ凹入させた奥壁凹入部を有するように構成してもよい。また、前記分離促進部は、受け皿の底壁部の少なくとも一部を受け皿の内側方向へ膨らませた底壁膨出部を有するように構成してもよい。

【0009】また、前記分離促進部は、受け皿の底壁部の少なくとも一部を受け皿の外側方向へ凹入させた底壁凹入部を有するように構成してもよい。また、前記受け皿の底壁部の左端部分と右端部分の少なくとも一方に、賞媒体を取り出し易くする為に底壁部を下方へ窪ませた取出助長部を設けるように構成してもよい。更に、これら分離促進部を設けた奥壁部や底壁部に、分離促進部に溜まる塵や埃を除去する塵除去用穴を設けるようにしてもよい。

【0010】

【発明の実施の形態】 以下、本発明の実施の形態について図面を参照しながら説明する。本実施形態は、遊技者が遊技媒体であるメダルを1～3枚ベットし、スタートレバーを操作して3組の回転リールを回転させ、3つのストップボタンを順次操作してこれら回転リールを停止させ、このときの遊技図柄の組合せに応じてメダルの払出しが得られるスロットマシンに本発明を適用した場合の一例である。

【0011】図1に示すように、島構造体50に載置されたスロットマシン1は、本体フレーム2を有し、その本体フレーム2の上部フレーム2a内部に、3つの回転リール3～5と、これら回転リール3～5を夫々回転駆動する複数の駆動モータ（図示略）を含むモータ駆動手段と、このモータ駆動手段を介して回転リール3～5の各々の停止を制御するリール制御手段、メダルホッパーに貯留したメダル（これが賞媒体に相当する）13の払出しを行う払出し装置等が設けられている。これら3つの回転リール3～5は左右方向に並設され、これらの軸心部が駆動モータの駆動軸に夫々個別に固着されている。

【0012】各回転リール3～5の帯状外周面には、「7」、「3」、「BAR」、「チェリー」、「スター」、「プラム」、「リプレイ図柄」・・・等を含む21個からなる複数種の遊技図柄が周方向に所定間隔おきに印されている。本体フレーム2の中段よりも上側の前面部分に表示パネル7が設けられ、その表示パネル7の内側パネルには回転リール3～5に対応する3つの矩形形状の図柄表示窓8が左右方向に並べて夫々形成されている。

【0013】これら図柄表示窓8には回転リール3～5の前端部が対向状に接近して設けられ、各図柄表示窓8を通して、回転リール3～5の連続した3つの遊技図柄を停止させた状態で表示でき、3組の図柄表示窓8と回転リール3～5とにより、3行×3列、つまり9つの遊技図柄をマトリックス状に表示可能になっている。ここで、各回転リール3～5において、21個からなる複数種類の遊技図柄のうち、各図柄表示窓8を介して透視可能な3つの連続する遊技図柄部分が、複数種の図柄を配置した複数の図柄列に相当する。

【0014】図1に示すように、表示パネル7には、図柄表示窓8を介して表示される3行×3列からなる9つの遊技図柄に対応させて、1枚のメダル投入で有効となる1本の入賞ライン10と、2枚のメダル投入で有効となる2本の入賞ライン11と、3枚のメダル投入で有効となる2本の入賞ライン12とが夫々印刷されている。図1に示すように、上部フレーム2aの下側に設けられる下部フレーム2bの前面の上部には、メダル投入口14とベットボタン15とが設けられている。ここで、このスロットマシン1では、例えば、メダル13を50枚までクレジットすることができ、そのクレジット枚数が枚数表示器16に表示される。

【0015】また、次のゲームを行うに際して、メダル投入口14から1～3枚のメダル13を投入するか、或いは、メダル13のクレジットがある場合には、ベットボタン15の操作により、1～3枚のメダル13をベットすることができる。このように、ゲーム開始に際して遊技者の操作性が図られている。下部フレーム2bの前面には、スタートレバー17（これが開始指令手段に相当する）と、3つの回転リール3～5に対応する3つのストップボタン18～20（これらが複数の停止指令手段に相当する）とが設けられている。

【0016】メダル13を投入してからスタートレバー17を操作したとき、回転リール3～5は同時に回転を開始し、ストップボタン18～20を操作した場合、操作したストップボタン18～20に対応する回転リール3～5が停止して1ゲームが終了する。このとき、前述したように、5本の入賞ライン10～12の何れかに、「777」や「333」等の特定態様、「チェリー」や「リンゴ」等の小役態様が揃った場合には、割り当てられた枚数のメダル13の払出しがある。

【0017】特に、「777」等の特定態様が揃った場合には、ビッグボーナスが発生することになり、遊技者に多大の利益状態が還元される。但し、「ミカン」等のリプレイ態様の場合、メダル13の払出しは受けませんが、メダル13を投入することなく次のゲームを開始することができる。メダル払出し口21を介して外部に払出されたメダル13は、下部フレーム2bの下端部に設けられたメダル受け皿23に貯留される。

【0018】このメダル受け皿23は導電性の合成樹脂

製であり、上部開放状で横長の箱体であり、前側の前壁部24と、後側の奥壁部25と、左右1対の側壁部26と、底壁部27とからなっている。これら1対の側壁部26は、略鉛直向きであるのに対して、前壁部24は、その左右方向の全長に互って、鉛直面に対して上方向手前側（前側）に移行するように傾斜して、遊技者が内部に収容したメダル13を取り出し易いように形成されている。奥壁部25は略鉛直向きに構成されている。

【0019】そして、メダル受け皿23は、これに形成した複数のフック部（図示略）を下部フレーム2bに係合させたり、固定ボルト等により、下部フレーム2bに取り外し可能に固定されている。ところで、図2に示すように、奥壁部25の下端部には、左右方向の全長に互ってメダル受け皿23の内側方向へ湾曲状に膨らませた奥壁膨出部からなる分離促進部25aが設けられている。また、底壁部27の左端部分と右端部分とは、平面視にて扇形状に底壁部27を下方へ窪ませた取出助長部27a、27bが夫々形成されている。

【0020】更に、底壁部27のこれら両取出助長部27a、27bの間には、底壁部27の一部をメダル受け皿23の外側方向へ凹入させた底壁凹入部からなる長円形状の分離促進部27cが形成されている。それ故、メダル受け皿23に払出されたメダル13が奥壁部25にこれと平行姿勢で押し当てられた場合であっても、奥壁部25の分離促進部25aにより、奥壁部25の壁面からのメダル13の分離が促進され、何れのメダル13も奥壁部25の壁面にくっつくようなことはなく、メダル13を指等でメダル受け皿23の内部側に容易に倒すことができるようになっていく。

【0021】次に、このように構成されたメダル受け皿23の作用及び効果について説明する。この場合、ゲームを開始するに際して準備した多数枚のメダル13がメダル受け皿23に山積み状態に貯留されているものとする。遊技者はゲームを行うために、山積み状態の多数枚のメダル13のうちから、左手で持てるだけの複数枚のメダル13を左手で掴んだ状態で、指によりこれらを重ねるように並べて左手に持ち、右手に持ち替えた1～3枚のメダル13をメダル投入口14から投入し、左手でスタートレバー17を操作し、3組の回転リール3～5を同時に回転させる。

【0022】その後、遊技者は、右手で3つのストップボタン18～20を順次操作して、回転する3組の回転リール3～5を停止させる。この回転停止時に、有効化された入賞ライン10～12の何れかに、大当たり態様や小役態様等が揃った場合、予め設定された枚数のメダル13がメダル払出し口21を介して払出され、図3、図4に示すように、複数枚のメダル13がメダル受け皿23に追加的に貯留される。

【0023】このような場合、遊技者は左手又は右手でメダル受け皿23の複数枚のメダル13を左側の取出助

長部27a又は右側の取出助長部27bに集め易くなり、この下方に窪んだ取出助長部27a、27bに留った複数枚のメダル13を、前壁部24を利用する等して左手又は右手で一気に掴むことができ、容易に取出すことができる。ここで、各取出助長部27a、27bの複数個所に、塵や埃を除去する為の塵抜き穴30を設けてもよい。この場合には、これら取出助長部27a、27bに留った塵や埃を、塵抜き穴30を介して容易に除去して掃除することができる。

【0024】ところで、メダル受け皿23に払出された何れかのメダル13が奥側に移動して、奥壁部25の下端部分に押し当てられる場合もある。しかし、このように、メダル13が奥壁部25に押し当てられた場合でも、奥壁部25の下端部分に設けた分離促進部25aにより、何れのメダル13も奥壁部25の壁面にくっついて保持されるようなことはなく、メダル13を指等でメダル受け皿23の内部側に容易に倒すことができる。

【0025】更に、メダル受け皿23の貯留メダル枚数が少なくなり、残り少ない複数枚のメダル13が重ならない状態でメダル受け皿23の底壁部27に貯留されているような場合には、メダル13を分離促進部27cの方へ移動させることで、その分離促進部25cにより、何れのメダル13も奥壁部25の壁面にくっつかないように分離促進がなされ、図4に示すように、メダル13の端部を人指し指で上方から押し下げると、テコの原理により、メダル13の他端側が底壁部27から容易に分離されるので、親指と人指し指とでそのメダル13を容易に摘み上げることができる。

【0026】次に、前述した実施形態のメダル受け皿23を部分的に変更した変更形態について説明する。

1) 前述した実施形態のメダル受け皿23の分離促進部25aに代えて、図5に示すように、奥壁部25Aの下端部分を左右方向の全長に互ってメダル受け皿23Aの内側方向へ直線状に膨らませた奥壁膨出部からなる分離促進部25bを設けてもよい。その他の分離促進部27a～27cは前記実施形態と同様に設けられている。この場合にも、メダル13が奥壁部25に押し当てられた場合でも、その分離促進部25bにより、何れのメダル13も奥壁部25の壁面にくっつかないように分離促進がなされる。

【0027】2) 前述した実施形態のメダル受け皿23の分離促進部25aに代えて、図6に示すように、奥壁部25Bの下端部分を左右方向の全長に互ってメダル受け皿23Bの内側方向へ、断面略半円状に膨らませた奥壁膨出部からなる分離促進部25cを横1列に設けてもよい。その他の分離促進部27a～27cは前記実施形態と同様に設けられている。この場合にも、メダル13が奥壁部25Bに押し当てられた場合でも、その分離促進部25cにより、何れのメダル13も奥壁部25Bの壁面にくっつかないように分離促進がなされる。但し、

その断面略半円状の分離促進部25cを、所定間隔おききに横1列状に複数設けてもよい。

【0028】3) 前述した実施形態のメダル受け皿23の分離促進部25aに代えて、図7に示すように、奥壁部25Cの下端部分に、左右方向の全長に亘ってメダル受け皿23Cの内側方向へ、断面略半円状に膨らませた奥壁膨出部からなる分離促進部25dを縦2列に設けてもよい。その他の分離促進部27a~27cは前記実施形態と同様に設けられている。この場合にも、メダル13が奥壁部25Cに押し当てられた場合でも、分離促進部25dにより、何れのメダル13も奥壁部25Cの壁面にくっつかないように分離促進がなされる。但し、その断面略半円状の分離促進部25dを、所定間隔おききに横2列状に複数設けてもよい。

【0029】4) 前述した実施形態のメダル受け皿23の分離促進部25aに代えて、図8に示すように、奥壁部25Dの高さ方向中段部を左右方向の全長に亘ってメダル受け皿23Dの外側方向へ、断面略半円状に凹入させた奥壁凹入部からなる分離促進部25eを横1列に設けてもよい。その他の分離促進部27a~27cは前記実施形態と同様に設けられている。この場合にも、メダル13が奥壁部25Dに押し当てられた場合でも、その分離促進部25eにより、何れのメダル13も奥壁部25Dの壁面にくっつかないように分離促進がなされる。但し、その分離促進部25eの断面形状は、断面略横V字状、断面略横U字状であってもよい。

【0030】5) 前述した実施形態のメダル受け皿23の分離促進部25aに代えて、図9に示すように、奥壁部25Eの下端部を左右方向の全長に亘ってメダル受け皿23Eの外側方向へ、断面略半円状に凹入させた奥壁凹入部からなる分離促進部25fを横1列に設けてもよい。その他の分離促進部27a~27cは前記実施形態と同様に設けられている。この場合にも、メダル13が奥壁部25Eに押し当てられた場合でも、その分離促進部25fにより、何れのメダル13も奥壁部25Eの壁面にくっつかないように分離促進がなされる。但し、その分離促進部25fの断面形状は、断面略横V字状、断面略横U字状であってもよく、奥壁部25Eの下端の複数個所に、塵を除去する為の塵抜き穴30を設けてもよい。

【0031】6) 前述した実施形態のメダル受け皿23の分離促進部25aに代えて、図10に示すように、奥壁部25F自体を左右方向の全長に亘ってメダル受け皿23Fの内側方向へ曲線状に膨らませた奥壁膨出部からなる分離促進部25gを設けてもよい。その他の分離促進部27a~27cは前記実施形態と同様に設けられている。この場合にも、メダル13が奥壁部25Fに押し当てられた場合でも、その分離促進部25gにより、何れのメダル13も奥壁部25Fの壁面にくっつかないように分離促進がなされる。

【0032】ところで、その分離促進部25gは、奥壁部25F自体を左右方向の全長に亘ってメダル受け皿23Fの外側方向へ曲線状に凹入させた奥壁凹入部からなる分離促進部であってもよい。但し、奥壁部25Fの下端の複数個所に、塵や埃を除去する為の塵抜き穴30を設けてもよい。

【0033】7) 前述した実施形態のメダル受け皿23の分離促進部27cに代えて、図11に示すように、底壁部27Aに、左右方向の全長に亘ってメダル受け皿23Gの内側方向へ、断面略半円状に膨らませた底壁膨出部からなる分離促進部27dを3列に設けてもよい。その他の分離促進部25a, 27a, 27bは前記実施形態と同様に設けられている。この場合にも、底壁部27Aに貯留されているメダル13はこれら複数の分離促進部27dにより、何れのメダル13も底壁部27Aの壁面にくっつかないように分離促進がなされる。但し、その断面略半円状の分離促進部27dを、所定間隔おききに横3列状に複数設けてもよい。

【0034】8) 前述した実施形態のメダル受け皿23の分離促進部27cに代えて、図12に示すように、底壁部27Bに、左右方向の略全長に亘ってメダル受け皿23Hの内側方向へ、断面略半円状に膨らませた底壁膨出部からなる分離促進部27eを横1列に設けてもよい。その他の分離促進部25a, 27a, 27bは前記実施形態と同様に設けられている。この場合にも、底壁部27Bに貯留されているメダル13はその分離促進部27eにより、何れのメダル13も底壁部27Bの壁面にくっつかないように分離促進がなされる。

【0035】9) 前述した実施形態のメダル受け皿23の分離促進部25a, 27cに代えて、図13に示すように、奥壁部25F自体を左右方向の全長に亘ってメダル受け皿23Fの外側方向へ曲線状に凹入させた奥壁凹入部からなる分離促進部25hを設けるとともに、底壁部27C自体を左右方向の全長に亘ってメダル受け皿23Fの内側方向へ湾曲状に膨らませた底壁膨出部からなる分離促進部27fを設けてもよい。その他の分離促進部27a, 27bは前記実施形態と同様に設けられている。

【0036】この場合にも、メダル13が奥壁部25Gに押し当てられた場合でも、その分離促進部25hにより、何れのメダル13も奥壁部25Gの壁面にくっつかないように分離促進がなされる。更に、底壁部27Cに貯留されているメダル13はその分離促進部27fにより、何れのメダル13も底壁部27Cの壁面にくっつかないように分離促進がなされる。それ故、メダル受け皿23の貯留メダル枚数が少なくなった場合でも、これら分離促進部25h, 27fにより、何れのメダル13も奥壁部25Fや底壁部27Cにくっつかないように分離促進がなされ、親指と人指し指とでメダル13を容易に摘み上げることができる。

【0037】10) メダル受け皿23、23A~23Iの奥壁部25、25A~25Gがスロットマシン1の前面下部の補助フレームの一部で構成されている場合、その補助フレーム部分に分離促進部25a~25hを夫々設けるようにしてもよい。

11) メダル受け皿23、23A~23Iを金属製で構成し、しかもグラウンド線を介して接地するようにし、払出されたメダル13に帯電した静電気を除去できるようにしてもよい。

12) その他、本発明の趣旨を逸脱しない範囲において、前記実施形態に種々の変更を加えて実施することが可能であり、各種の賞媒体を収容する受け皿を有する種々の遊技機にも本発明を適用することが可能である。

【0038】

【発明の効果】 本願の遊技機によれば、受け皿の壁部に、その壁面からの賞媒体の分離を促進する分離促進部を設けたので、受け皿に払出された何れの賞媒体もその分離促進部により、奥壁部や底壁部等の壁部にくっつくようなことはなくなり、遊技者による賞媒体の受け皿からの取り出しが容易になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施形態に係るスロットマシンの斜視図である。

【図2】メダル受け皿の平面図である。

【図3】図2のC-C線縦断正面図である。

【図4】図2のD-D線縦断側面図である。

【図5】変更形態に係るメダル受け皿であり、奥壁部に直線状の奥壁膨出部からなる分離促進部を設けた図4相当図である。

【図6】変更形態に係るメダル受け皿であり、奥壁部に断面略半円状の奥壁膨出部からなる分離促進部を1列状に設けた図4相当図である。

【図7】変更形態に係るメダル受け皿であり、奥壁部に*

*断面略半円状の奥壁膨出部からなる分離促進部を2列状に設けた図4相当図である。

【図8】変更形態に係るメダル受け皿であり、奥壁部に断面略半円状の奥壁凹入部からなる分離促進部を1列状に設けた図4相当図である。

【図9】変更形態に係るメダル受け皿であり、奥壁部に断面略半円状の奥壁凹入部からなる分離促進部を1列状に設けた図4相当図である。

【図10】変更形態に係るメダル受け皿であり、奥壁部自体に奥壁膨出部からなる分離促進部を設けた図4相当図である。

【図11】変更形態に係るメダル受け皿であり、底壁部に断面略半円状の底壁膨出部からなる分離促進部を3列状に設けた図4相当図である。

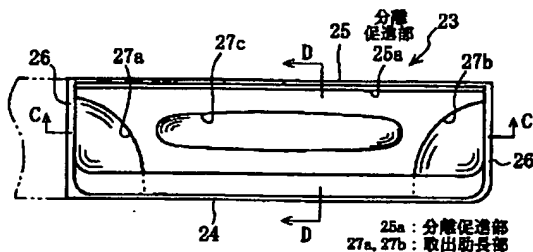
【図12】変更形態に係るメダル受け皿であり、底壁部に断面略半円状の底壁膨出部からなる分離促進部を1列状に設けた図4相当図である。

【図13】変更形態に係るメダル受け皿であり、奥壁部と底壁部に夫々分離促進部を設けた図4相当図である。

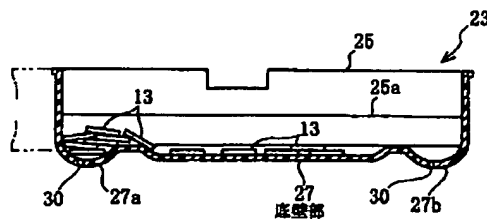
【符号の説明】

| | |
|------------|--------------------|
| 1 | スロットマシン（遊技機） |
| 3~5 | 回転リール |
| 13 | メダル（賞媒体） |
| 17 | スタートレバー |
| 18~20 | ストップボタン |
| 23、23A~23I | メダル受け皿 |
| 25、25A~25G | 奥壁部 |
| 25a~25h | 分離促進部（奥壁膨出部、奥壁凹入部） |
| 27、27A~27C | 底壁部 |
| 27a~27f | 分離促進部（底壁膨出部、底壁凹入部） |
| 27a、27b | 取出助長部 |

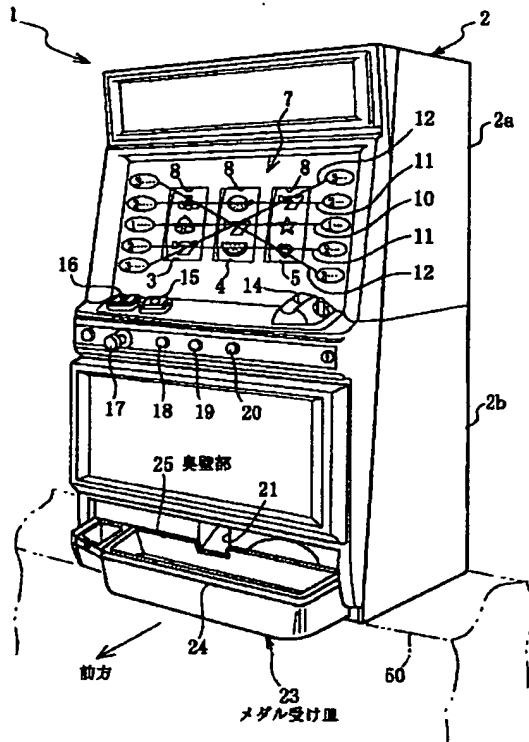
【図2】



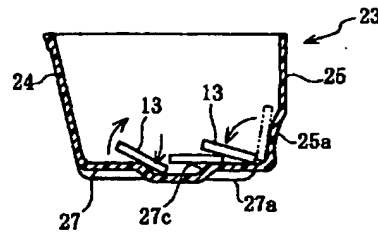
【図3】



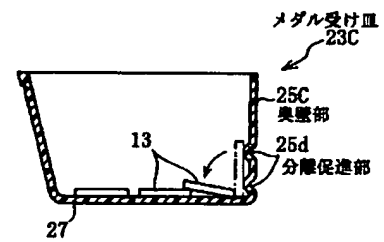
【図1】



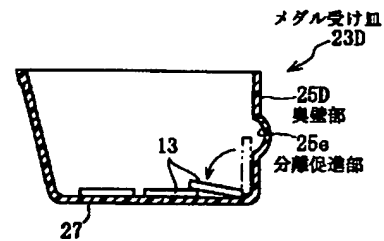
【図4】



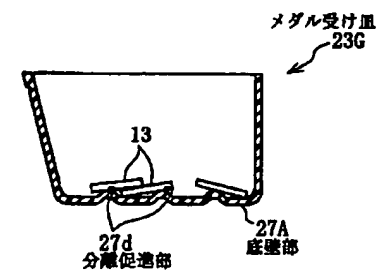
【図7】



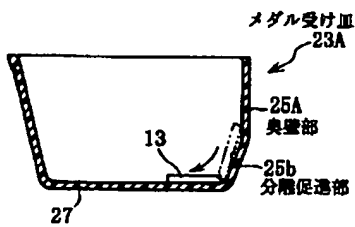
【図8】



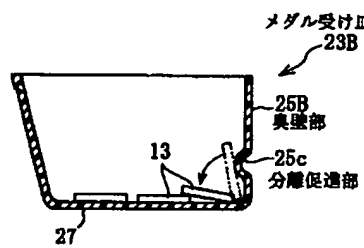
【図11】



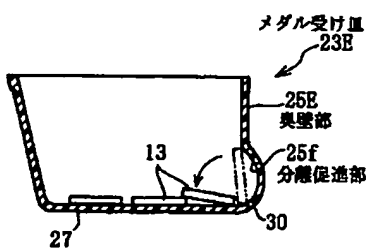
【図5】



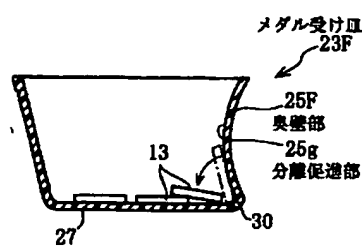
【図6】



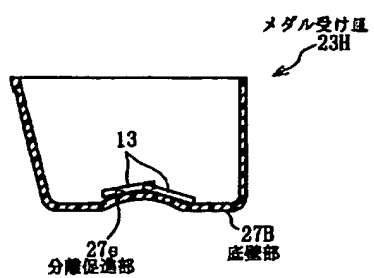
【図9】



【図10】



【図12】



【図13】

